

ネイチャーセンター 準備室だより



写真：太齋彰浩

ラムサール条約 湿地と藻場

いま、志津川湾に生息する2種類のコンブ類に注目が集まっています。一つはこれまででも紹介してきたアラメで、もう一つは食卓でもおなじみのマコンブ（写真）です。アラメは比較的温かな海に生息するコンブ類の代表格で、マコンブは冷たい海のコンブ類の代表種です。志津川湾はアラメの分布北限とマコンブの分布南限に近く、両者が共存する貴重な海域とされてきました。

そうした背景から、平成22年に環境省は国際的に重要な湿地として志津川湾をラムサール条約湿地潜在候補地に選定しました。ラムサール条約は、特に水鳥の生息地として重要な湿地やそこに生息する動植物の保全・再生と賢明な利用（ワイズユース）を促進することを目的としています。ここでの「湿地」の定義は広く、高原の湿地から淡水の湖沼、海岸の干潟、浅い海の珊瑚礁や藻場も含まれます。ウニやアワビ、魚たちなどの磯根資源を育む藻場は志津川湾の生物多様性を支える重要な存在です。海の恵みを次の世代へも引き継いでいけるように、私たちは、身近な自然環境を理解し、上手に利用していく努力を続けねばなりません。

編集後記

▶私は今回の職場体験を通して、自分達が見えない所で大人達が地道な作業をしている所を見て、とても関心をもちました。いつもは福興市での役員の活躍や、夏祭りでの仕事しか見たことがなくて、こんなにも影での仕事が大変なことは初めて知りました。町のために、町民の皆様と真剣に向き合う姿を見て、とても感動しました。宮川▶今回、自分は広報の一部の記事を書かせてもらえることになりました。最初は、何を書けばいいのか分からず茫然としていましたが、広報担当の小野寺さんが優しく丁寧に指導してくださいだったので、広報を作る事ができたと思います。それと、自分は役場で働くのは初めてだったのでとても良い経験になったと思います。村上▶私は東京から南三陸を地域創生しに訪れているごく普通の大学一年生です。現在、町役場の方にインターン生としてお邪魔させてもらっているわけですが、いやはや仕事とは如何に厳しいかを実感する毎日です。しかし、私はめげずに最後までインターンをやり通し、すべてをそつなくこなせる様な人間に私はなりたい。小齊平▶割愛。小野寺

わが家のアイドル



佐藤

なる
成ちゃん

(桜沢)

平成28年2月25日生まれ

パパ 一之さん

ママ 由佳さん

おうちの方から一言

わが家は、成が笑うとみんな笑顔です♡

どんな事も『なぜか成る』。成ちゃん、元気いっぱい、いろいろな事にチャレンジしていこうね！